

校長室だより 令和7年度第6号（令和7年11月4日）

山麓祭が10月25日（土）に行われました。

前日まで体調を崩して休んでいた児童がいましたが、当日は、幼稚部から高等部専攻科までの25名の幼児児童生徒全員が揃ってステージ発表をすることができました。

今年度の山麓祭のスローガンは、『思いを一つに～全員主役！ みんなでつくる山麓祭～』です。スローガンを募集した中から高等部1年生の考えたものが選ばれました。

開祭式では、4つの縦割りグループごとに集合し、スローガンのイメージ図の中に自分の顔写真を貼り、共同作品を作りました。「真ん中にある『98』という数字は、今年度、山形麓学校が創立98周年ということを意味しています。これからも思いを一つにみんなで頑張っていきましょう！」と高等部の実行委員の生徒が説明をしてくれました。



幼稚部は、好きな歌と踊りをたくさん発表しました。「大きな声と身振りを頑張る」ことを目標に、何度も練習してきたことを一生懸命発表していました。みんなを笑顔にしてくれた発表でした。



小学部は、高学年は「日本一楽しい修学旅行で学んだこと」、低学年は「畑で作ったじゃがいもを使ってカレーを作ったこと」を発表をしました。動画やクイズ、ダンスを取り入れながら、とても楽しかったという思いが伝わるように発表しました。ラストには、それぞれの得意なことを生かして、ダンスやキーボードの演奏を生き生きと発表していました。



中学部は、山麓祭のステージ発表のリーダーが事前にアンケートを取り、みんなの意見を取り入れた内容を考えました。職場体験や職場見学で学んだことをスライドを使って発表したり、「それもいいね！」の曲で息の合ったダンスを披露したりしました。

仲間と助け合いながら発表している様子に、みんなの心があたたかくなりました。







高等部普通科は、就業体験で学んだことを生かし、『将来働くために必要なこと』をテーマに発表をしました。自分たちが学んだことを観客のみんなに分かるような発表にするために生徒同士で話し合い、寸劇やクイズを交えながら楽しい中に大事なメッセージを込めた発表を行いました。

みんなが将来働くために必要なことを考える時間になった発表でした。



高等部専攻科は、専攻科の1日を動画で撮影し、それに説明を加えた発表を行いました。動画の編集やシナリオ作成も自分たちで行いました。同じ学校にいても、専攻科がどんな勉強をしているのか、実は後輩たちはあまり知らないということに着目して、専攻科の学びと歴史を紹介してくれました。山形聾学校の財産となる発表でした。



山聾祭は、日々の学びの積み重ねやまとめなどの成果を発表する場であり、本校の幼児児童生徒が毎年一生懸命に取り組む大切な行事の一つです。当日に至るまで、子ども達が話し合ったり、発表が良くなるように意見を出し合ったりしながら励む様子が見られました。発表に向けた過程で、自分たちの学びをより深く考えたり、友だちの意見を聞いて学びを広げたりしながら主体的に活動する姿に感動しました。